

東京都社会福祉審議会検討分科会（第1回）

「地域共生社会」の行く末



「未来の東京」戦略 version up 2022より

室田信一
(東京都立大学)

報告内容

- 2040年の地域福祉の姿
- 「地域共生社会」の歴史的な解釈
- 新たな地域福祉の実践
- 新たな地域福祉の実践を支える財源
- 新たな地域福祉の実践を支える政策

2040年の地域福祉の姿

- 自治体間格差、地域間格差の拡大
- 緊縮財政と脱専門職化 (Malin 2020)
アンペイド・パブリック・ワークの拡大 (三島2017)
- 公的資金の縮小 (コーディネーターバブルの終焉)

Malin, N. (2020) De-Professionalism and Austerity: Challenges for the Public Sector, Polity Press.

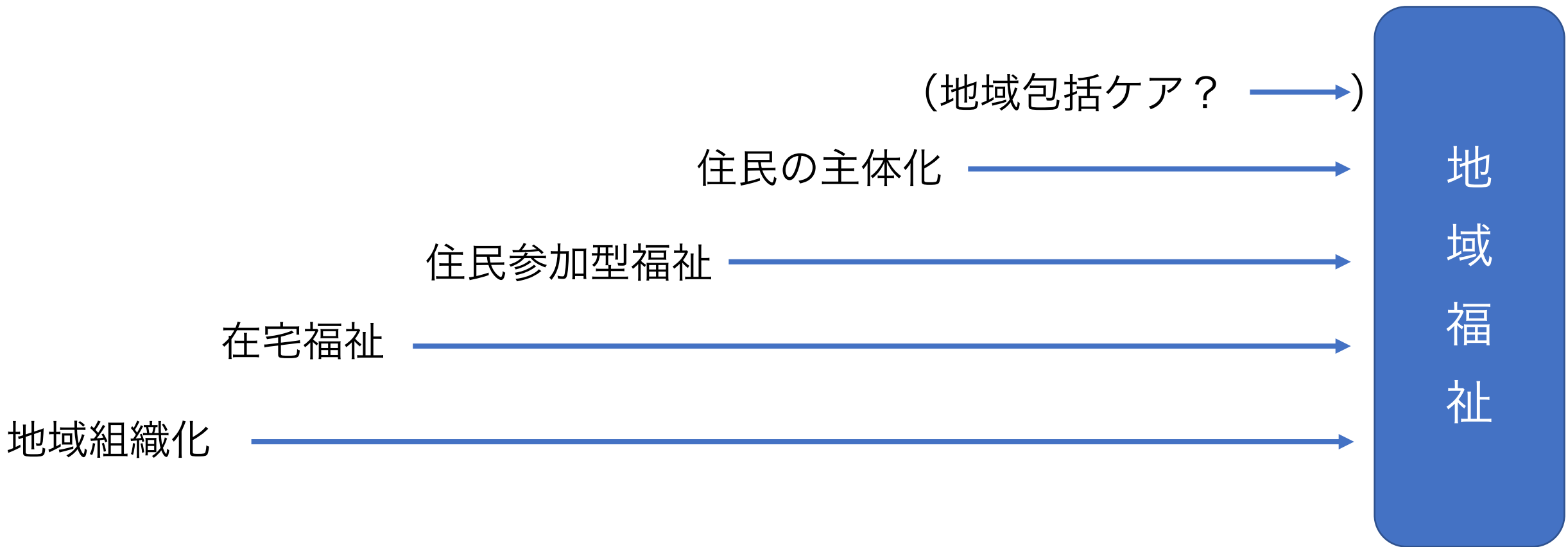
三島亜紀子 (2017) 『社会福祉学は「社会」をどう捉えてきたのかーソーシャルワークのグローバル定義における専門職像』 勁草書房.

「地域福祉の主流化」

1980年代

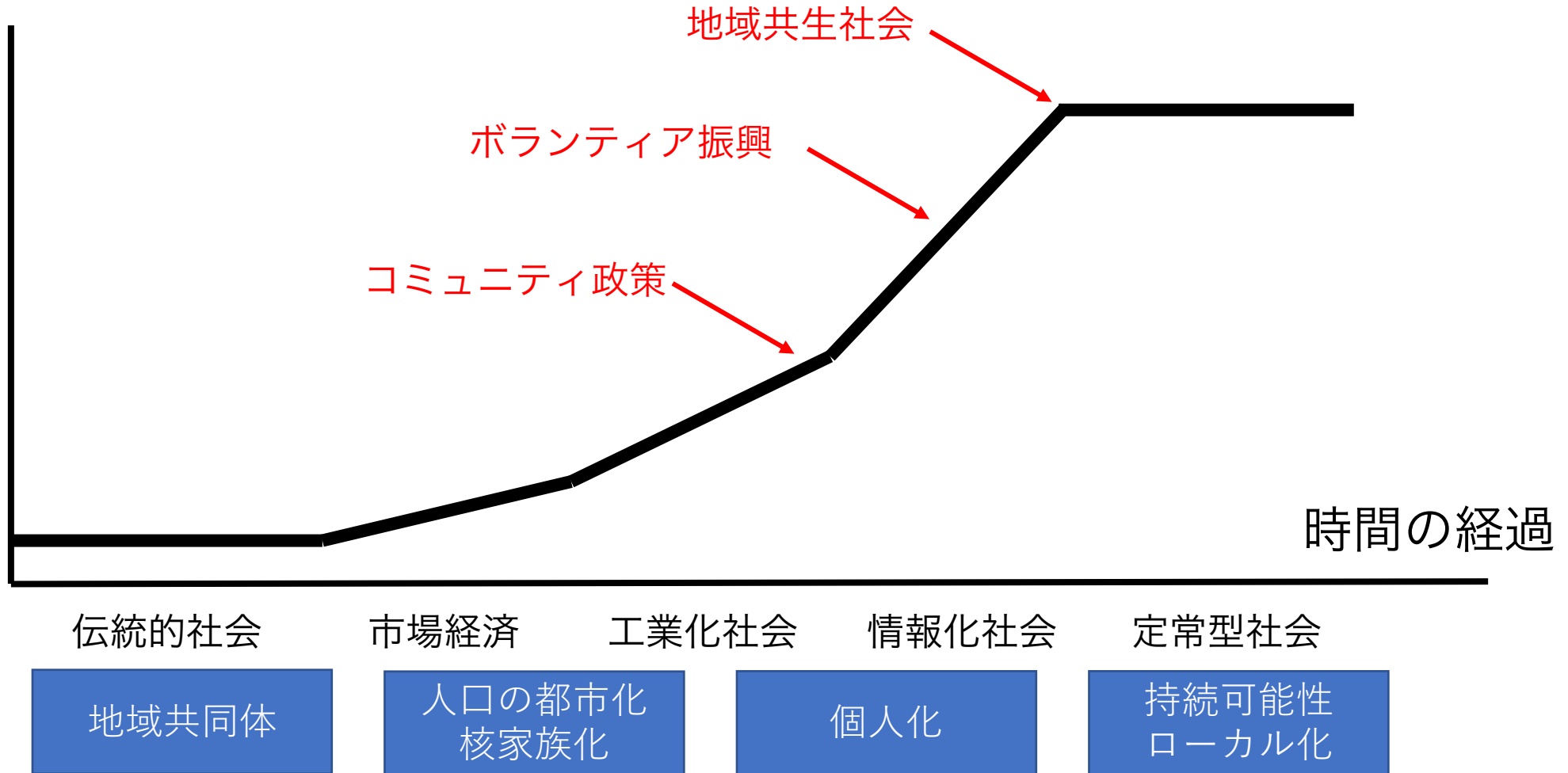
2000年代

2020年代



経済システムの進化と定常型社会

経済の規模



社会形態の変化と「地域福祉の時代」

社会のあり方	伝統的社会	工業化社会・情報化社会 (地域福祉の時代)	定常型社会？ (地域共生社会)
支援の基盤にある考え方	共同体の相互扶助	<ul style="list-style-type: none">住民同士の支え合いの組織化（コミュニティ・オーガニゼーション）専門的な支援の組織化（コミュニティケア）政府による社会権保障の強化？	<ul style="list-style-type: none">他人事を我がごとに変える「受け手」と「支え手」を超える
コミュニティにおける関係性	対等な関係	非対称な関係 (支援の「受け手」と「支え手」)	???

「地域共生社会」をめぐる3つの言説

地域共生社会づくりを推進することは、

1. 縦割りの制度を超えて、地域におけるきめ細やかで包括的な支援を提供することができる。 【丸ごと言説】
2. 支援の「受け手」「支え手」という関係を超えて、誰もが主体的に地域活動に参加して、地域の福祉活動に貢献できる。 【一億総活躍言説】
3. 少子高齢化で担い手不足が予測される地域の福祉活動を持続可能なものにする（同時に社会保障費を抑制することができる）。 【サステナブル言説】

令和4年度 重層的支援体制整備事業 実施予定自治体（134自治体）

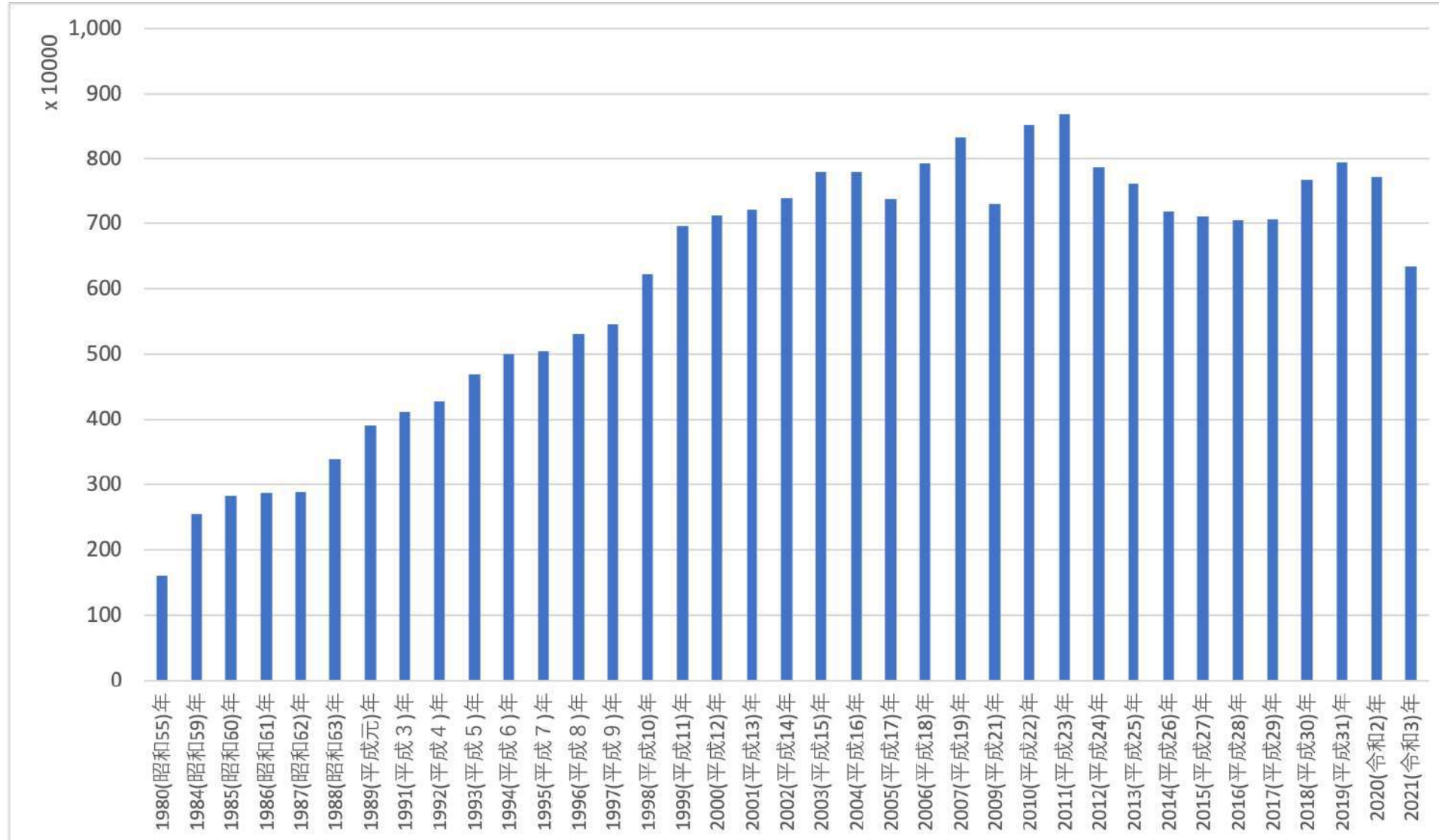
北海道	旭川市	千葉県	木更津市	三重県	伊勢市	島根県	松江市
	七飯町		松戸市		桑名市		大田市
	妹背牛町		柏市		名張市		美郷町
	鹿栖町		市原市		亀山市		岡山市
	津別町		墨田区		鳥羽市		美作市
	音更町		世田谷区		いなべ市		呉市
	広尾町		中野区		志摩市		東広島市
青森県	鯉ヶ沢町	東京都	八王子市	伊賀市	広島県	廿日市市	
岩手県	盛岡市	神奈川県	立川市	御浜町	山口県	宇部市	
	遠野市		狛江市	長浜市		長門市	
	矢巾町		西東京市	守山市		高松市	
	岩泉町		鎌倉市	甲賀市		さぬき市	
秋田県	能代市	富山県	茅ヶ崎市	野洲市	愛媛県	宇和島市	
	大館市		逗子市	高島市		高知市	
	湯沢市		富山市	米原市		中土佐町	
	由利本荘市		氷見市	竜王町		大牟田市	
山形県	山形市	石川県	金沢市	豊中市	福岡県	久留米市	
福島県	福島市	福井県	小松市	枚方市		八女市	
	須賀川市		越前市	高石市		糸島市	
茨城県	古河市	山梨県	坂井市	東大阪市		佐賀県	岡垣町
	東海村		甲州市	大阪狭山市	佐賀市		
栃木県	栃木市	長野県	飯田市	阪南市	熊本県	大津町	
	市貝町		伊那市	太子町		中津市	
	野木町		岐阜市	姫路市	大分県	津久見市	
群馬県	太田市	静岡県	関市	竹田市			
	みどり市		函南町	芦屋市		杵築市	
	上野村		岡崎市	加東市		宮崎県	都城市
埼玉県	玉村町	春日井市	三郷町	日向市			
	川越市	豊田市	川上村	三股町			
	狭山市	稲沢市	和歌山市	※134自治体			
	草加市	東海市	鳥取市		うちR3重層事業	42自治体	
	越谷市	大府市	米子市		うちR3移行準備事業	78自治体	
	桶川市	知多市	智頭町		うちモデル事業実施	99自治体	
	ふじみ野市	豊明市	北栄町				
鳩山町	長久手市						
	東浦町						

令和4年度 重層的支援体制整備事業への移行準備事業 実施予定自治体（229自治体）

北海道	釧路市	埼玉県	さいたま市	石川県	輪島市	愛知県	名古屋市	鳥取県	倉吉市	熊本県	熊本市
	京極町		川口市		白山市		豊橋市		八咫町		山鹿市
	東川町		行田市		能美市		一宮市		温帯浜町		菊池市
	釧路町		川崎市		野々市市		半田市		琴浦町		天草市
青森県	厚妻町	千葉県	北本市	福井県	福井市	三重県	豊川市	島根県	出雲市	大分県	合志市
	平内町		吉川市		敦賀市		蒲郡市		古賀町		菊陽町
	今別町		白岡市		鯖江市		大山市		笠岡市		西原村
	蓬田村		川島町		あわら市		小牧市		福江市		御船町
宮城県	外ヶ浜町	東京都	野田市	山梨県	美浜町	滋賀県	阿久比町	岡山県	新見市	宮崎県	益城町
	西目屋村		津安市		山梨市		武豊町		西原倉村		大分市
	藤崎町		中央区		高アルプス市		松阪市		広島市		由布市
	大郷町		品川区		長野市		鈴鹿市		竹原市		九里町
秋田県	田舎館村	長野県	目黒区	岐阜県	岡谷市	京都府	紀宝町	広島県	尾道市	鹿児島県	延岡市
	板柳町		大田区		駒ヶ根市		彦根市		福山市		小林市
	仙台市		杉並区		飯山市		近江八幡市		大竹市		高鍋町
	通谷町		豊島区		小海町		栗東市		府中町		都農町
山形県	鹿角市	静岡県	江戸川区	兵庫県	下諏訪町	大阪府	湖南市	高知県	坂町	沖縄県	門川町
	大仙市		三浦市		富士見町		東近江市		下関市		美郷町
	井川町		青森市		原村		豊根町		山口市		高千穂町
	大湯村		鎌布市		飯島町		亀岡市		美祿市		鹿児島市
福島県	鶴岡市	神奈川県	町田市	奈良県	中川村	兵庫県	長岡京市	福岡県	小松島市	佐賀県	鹿屋市
	天童市		小金井市		泰阜村		長岡京市		丸亀市		霧島市
	遊佐町		小平市		飯塚町		精華町		四国中央市		志布志市
	いわき市		日野市		大垣市		堺市		愛媛町		中種子町
茨城県	川俣町	新潟県	国分寺市	奈良県	美濃加茂市	徳島県	八尾市	佐賀県	四万十市	長崎県	大和村
	楢葉町		国立市		坂祝町		河内長野市		本山町		宇検村
	土浦市		多摩市		静岡市		船取町		いの町		和泊町
	那珂市		相模原市		静岡市		千早赤阪村		黒潮町		知名町
栃木県	那珂川町	富山県	多摩市	奈良県	飯沼市	徳島県	明石市	福岡県	福岡市	佐賀県	糸通市
	小山市		藤沢市		近松市		明石市		福岡市		油縄市
	那須塩原市		小田原市		熱海市		伊丹市		大川市		
	さくら市		委野市		藤枝市		西脇市		小都市		
群馬県	那須烏山市	富山県	厚木市	奈良県	御殿場市	徳島県	川西市	福岡県	宗像市	佐賀県	
	千生町		新潟市		伊豆市		小野市		古賀市		
	高根沢町		三冬市		小山町		たつの市		うきは市		
	那珂川町		柏崎市		吉田町		奈良市		大刀洗町		
群馬県	沼田町	富山県	見附市	奈良県	宇陀市	徳島県	橿原市	福岡県	大木町	長崎県	
	高山村		関川村		伊豆市		宇陀市		上峰町		
	みなかみ町		高岡市		小山町		田原本町		長峰市		
	明和町		高岡市		吉田町		高取町		五島市		
群馬県	千代田町	富山県	高岡市	奈良県	明日香村	徳島県	明日香村	福岡県	西海市	長崎県	
	大泉町		高岡市		王寺町		明日香村		佐々町		
			高岡市		吉野町		王寺町				
			高岡市		大淀町		大淀町				

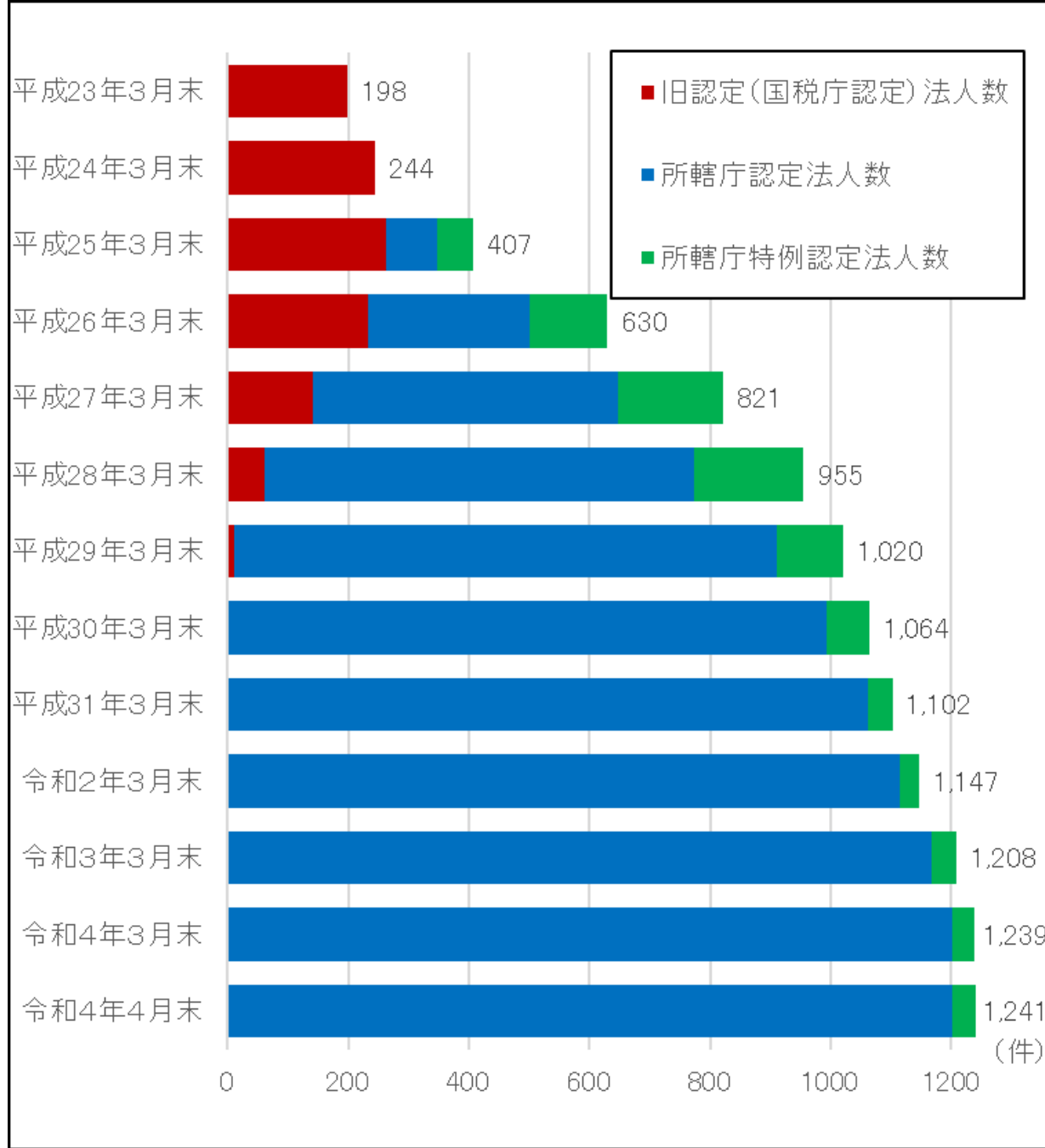
※229自治体
うちR3移行準備事業
146自治体
うちモデル事業実施
114自治体

ボランティア人口の推移



参照：全国社会福祉協議会

NPO法人数の推移



出典：内閣府 (<https://www.npo-homepage.go.jp/about/toukei-info/ninshou-seni>)

川の図書館

調布市、東京都



出典：<https://communitysite.chofu-city.jp/joinus/01/>



チリンチリン三鷹

三鷹市、東京都

久留米10万人女子会

久留米市、福岡県

おしゃべりラボ会

月に1回自分たちの住むエリアでおしゃべり会(以後ラボ会という)を実施。2021.12.25 現在 21 校区9か所で実施。日常会話を楽しみ、お互いの日常を知る事、いざという時に助け合える関係を作る関係性を育む。身近な場所でのつながりを育む場。

2018年10月
ラボ会スタート
毎月久留米市内
10箇所前後で
進行中

ラボ会の中で出来てきた『こんなあったらいいね』を、楽しくみんなで研究するようなイメージで取り組む事業。地域課題の解決のきっかけを作る。

・地域暮らし研究 (おしゃべり移動販売)



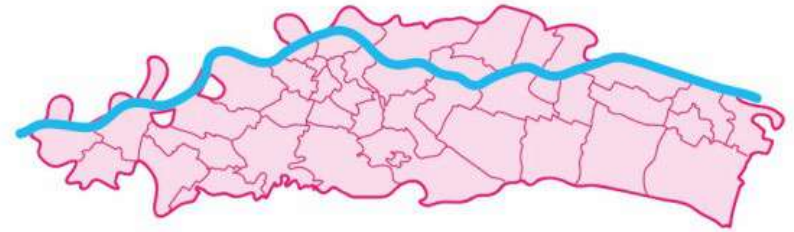
近所にスーパーもなく、買い物に困っている人たちの住む団地の一角で、おしゃべりの場を開催。食べたいもの、あったら助かる食材などのニーズを把握し一緒に販売する。



↑子供は宿題&大人はおしゃべり 後半はお楽しみゲームラボ会



↑水害に備えて、校区内の危険箇所を見回る、お散歩ラボ会



↑キッズスペースがある地元店でランチラボ会



↑ラボ会メンバーさんが親子で楽しめるピザ作り体験会を開催

おしゃべりラボ会

コロナでも繋がりをとださないように工夫して、オンラインも取り入れている。高齢者には使い方を教えて70代の人も参加できた。私たちの手法としては、話す内容は決めないで参加者の自発性を、大切にしている。そうすることで、本当に必要な地域課題を知ることが出来る。

自宅の近くで買いたいものがある、高齢の親と、障害をもった子供と生活しているのが、大変。近くに本店があったらいいな

身近な地域に集える場所が欲しい、地域に買い物する場所が少ない、もっとお店があったらいいな

親が最近、介護が必要かもって思ってきた、障害者をもつ家族は自分たちだけでどうにかしなくてはならない。もっと知ってもらえたらいいな

障害を持っていると災害時には避難所には行けないので、キャンプ用ブッガーを購入した



↑コロナ禍ではオンラインラボ会



←リアル参加とオンライン参加で参加者の状況によって柔軟に対応

夏休み、冬休み、長期休暇、どうしようか...? 親子で楽しめる何かあったらいいな

コロナの予防接種のアレコレ

最近、毎年のようにある水害が心配。状況が把握できるといいね。

コロナで誰とも話をして無いし何処にも行ってない、...

転勤で久留米へ。近所に友達がいなくて寂しい

子供が学校に行かないって言い出した...、どうしよう?

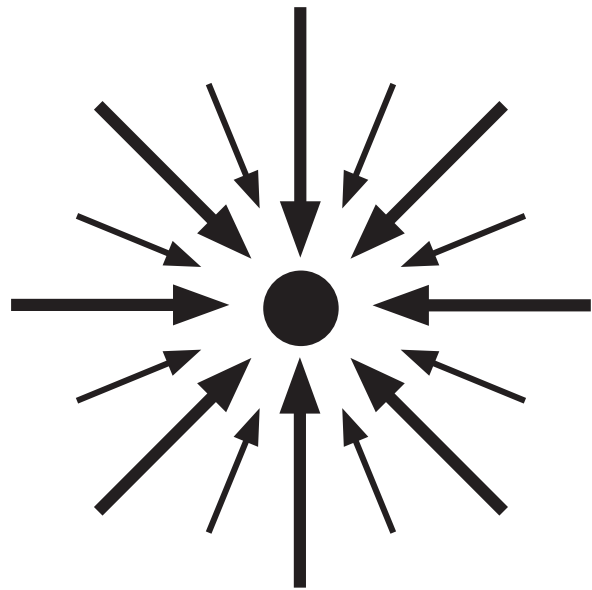
ラボ会では、自主企画で参加費を徴収したり、地元企業さんに協力してもらったりと、自分たちで運営・継続していく事に取り組んでいる。



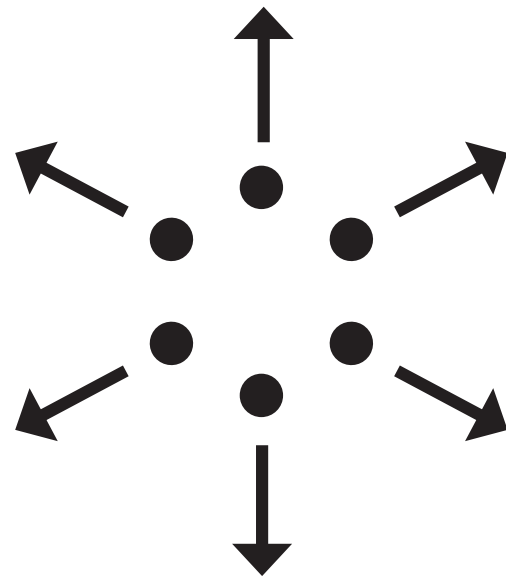
←地元企業さんによるブチ講座ラボ会

↑ラボ会の様子

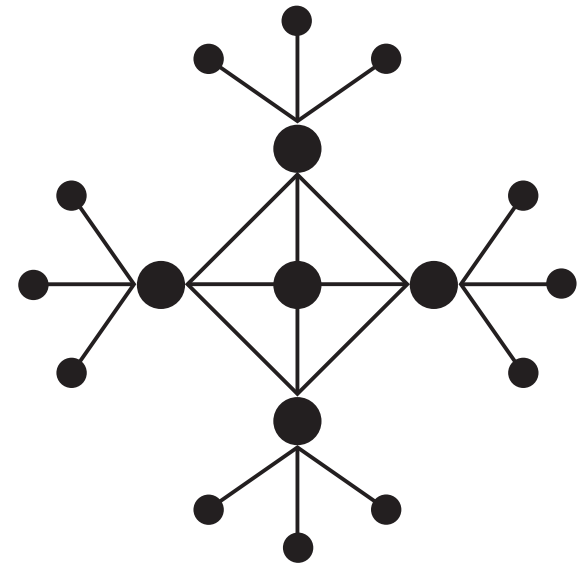
地域の資源が結びつき広がる実践



ドット・リーダーシップ



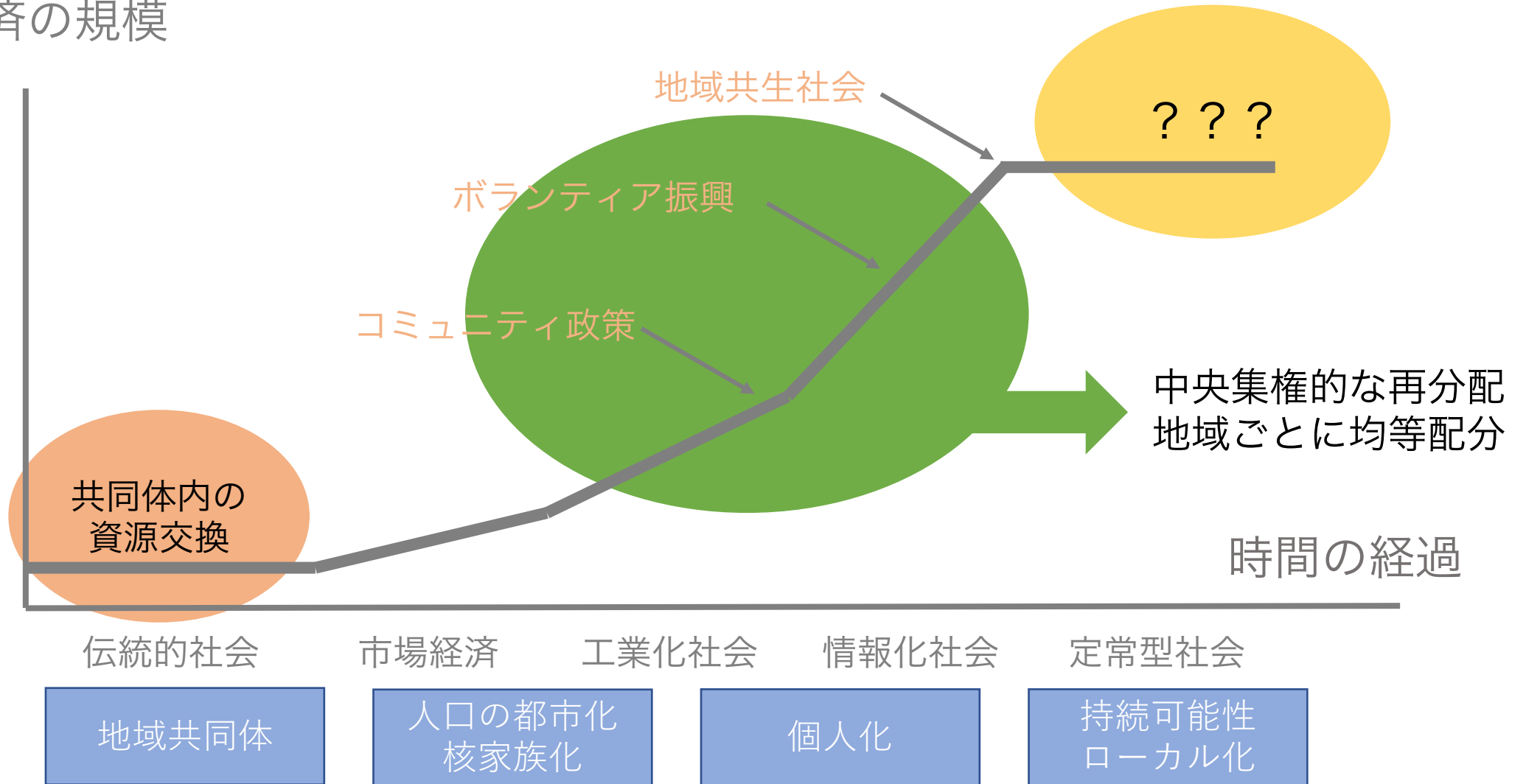
バラバラのリーダーシップ



スノーフレイク・
リーダーシップ

地域福祉の財源

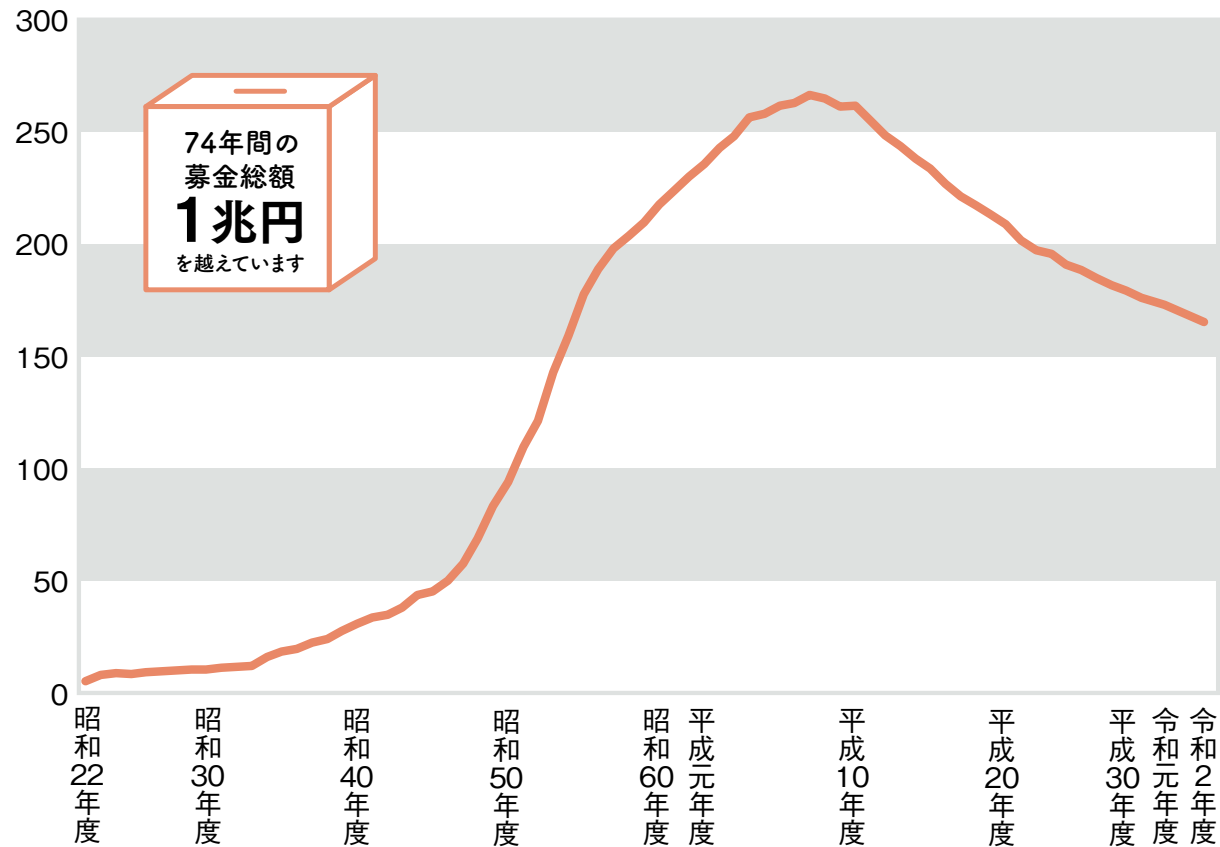
経済の規模



地域福祉の実践を支える民間財源（共同募金）

共同募金実績額の推移

(単位：億円)



出典：赤い羽根共同募金(<https://www.akaihane.or.jp/chuo/>)

地域福祉の実践を支える民間財源（コミュニティ財団）



参照：大阪コミュニティ財団(<http://www.osaka-community.or.jp/contents/fi/progress.htm>)

地域福祉の実践を支える民間財源（コミュニティ財団）



参照：大阪コミュニティ財団(<http://www.osaka-community.or.jp/contents/fi/progress.htm>)

新たな会費の仕組み

小杉駅前エリアマネジメント

本NPOは会員の皆様と周辺町会、商店街・商業施設、そして行政の「橋渡し」を通じて、武蔵小杉エリアの発展を目指す非営利団体です。様々なイベントを通じて人と人を結ぶことを目標にして運営を行っています。（通称は「エリアマネ」です）

詳しくはこちら

画像提供：武蔵小杉ライフ

会費：月額300円×5000戸×12ヶ月＝1800万円 ➡ 2019年度より任意加入に変更

参照：NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント(<https://musashikosugi.or.jp/>)

新たな会費の仕組み

都営大山団地（大山自治会）



自治会費：月額500円×1700戸×12ヶ月＝1020万円

新たな地域のセーフティネット



出典：<https://chofu.keizai.biz/>

地域福祉の実践を支える政策

- 「地域福祉」が築いてきたものの可視化
→生活支援サービスの可視化
- 自治体やそれよりも狭い地域内で資源（特にお金）が循環する仕組みの簡略化（例：都認証地域活動団体）
- ボランティア休暇制度のような「地域活動休暇制度」の導入促進
- 地域活動の評価方法の開発